

2009 年 7 月 1 日

## 「CSR 報告書 2009」を発行

### 社会的な課題の解決に貢献する当社の事業活動を具体的に紹介

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：大林 秀仁 / 以下、日立ハイテク）は、このたび「CSR報告書2009」（ダイジェスト版冊子）を発行しました。

今回の発行に併せて、当社ウェブサイト内のコンテンツ「CSRへの取り組み」もリニューアルし、当社のCSR（企業の社会的責任）活動の詳細について、わかりやすく紹介しています。

当社は2002年に初めて「環境報告書」を発行し、2005年からは「CSR報告書」へと内容を刷新して、当社のCSR活動をステークホルダーの皆様にご理解いただけるように努めています。

今回は、健康、安全・安心な暮らし、社会インフラ、環境保全など社会的な課題の解決に貢献する、当社グループの事業活動についての特集を掲載しています。また、国内・海外の拠点における、ビジネスの現場や地域社会でのCSR活動事例を紹介しています。

報告書全編を通して、多くのグループ社員が登場し、活動への取り組みについていきいきと語っています。

日立ハイテクは、CSR推進本部および関連各部門を中心にCSR活動に着実に取り組んでいます。それらの活動報告として発行した「CSR報告書」を、今後も毎年継続的に発行することで情報開示に努め、ステークホルダーの皆様信頼され、かつ魅力ある企業を目指していきます。

#### 【「CSR 報告書 2009」（ダイジェスト版冊子）の主な内容】

- ・「日立ハイテクのCSR」：当社のCSR活動について、基本理念と企業ビジョンをもとに説明
- ・「トップコミットメント」：『社員一人ひとりの実践で、高い志と誠実さを持つ日立ハイテクに』として経営トップがCSRへの取り組み姿勢を説明
- ・（特集）「事業活動を通じた社会への貢献」：事業活動を通じた健康、安全・安心・快適な暮らし、環境保全への貢献、拠点・グループ会社の取り組み

#### < 主な内容 >

- 「生化学分析技術で人々の健康管理に貢献」（日立自動分析装置）
- 「食の安全に貢献する分析・検査技術」（日立高速液体クロマトグラフ / 異物検知装置）
- 「リサイクルビジネスの推進」（フロンガス・使用済み潤滑油の再利用ビジネス）
- 「製品含有化学物質管理の推進」

- ・「活動報告と今後の課題」： 企業統治や遵法体制について説明する「マネジメント」、人事制度や安全衛生に関する「従業員とともに」、経営品質の向上・取引先の皆様との協働を紹介する「お客様／調達先様・仕入先様とともに」、「会社概要・経済性報告」で構成

\* 「CSR報告書」に追加情報を掲載した詳細版ウェブコンテンツを下記のとおり公開しています。

「CSRへの取り組み」： <http://www.hitachi-hitec.com/about/profile/csr/>

（一部の項目は7月中に更新・公開予定）

\* 「CSR報告書 2009」（ダイジェスト版冊子）は、英文版を8月に、中文版を9月にそれぞれ発行し、国内外にも広く配布する予定です。

お問い合わせ先

CSR推進本部 環境推進部 担当：小笠原 TEL：03-3504-7141

報道機関お問い合わせ先

社長室 広報・IRグループ 担当：松本 TEL：03-3504-3258